

第2回岡上地区住居表示検討委員会摘録

日 時：令和元年12月2日（月）午後4時00分～午後5時30分

場 所：岡上公会堂

出席者：岡上地区住居表示検討委員会委員（別紙参照）

事務局：戸籍住民サービス課 渡辺課長、田中課長補佐、五味、萩本、平山

【議題（1）】第1回検討委員会における検討内容の確認

○事務局が作成した摘録の内容について確認し、町会名の訂正をした後、市ホームページに掲載することを了承された。

【議題（2）】市街化調整区域の住居表示について

○市街化調整区域におけるアンケートの結果について

岡上町内会で行ったアンケートの結果を事務局から報告した。住居表示の実施を「希望しない」という回答が「希望する」という回答を大きく上回っており、回答率が半数を超えていることから有効なものとして了承された。

○岡上地区（全区域）の住民から寄せられた意見について

検討委員会設立についてのお知らせを配布したことで寄せられた意見について、事務局から報告した。意見はすべて電話によるもので、全4件のうち3件は住居表示実施に反対、1件は実施された場合の手続きに関するものだった。反対意見の主なものとしては、「現在の住所でわかりにくさは感じていないため不要」「住所変更の手続きが面倒で、メリットを感じない」「チラシの内容がわかりにくい」「全世帯に対してアンケートを実施すべき」というものだった。

○寄せられた意見への対応について

地区内の全住民に対し、住居表示実施の賛否を問うアンケートを取る必要があるかについて議論された。アンケートを実施すべきという委員の意見としては「今不便を感じていない人も多いと思われるため、色々な人の意見を聞くべき」といったものが挙げられた。実施しなくてよいとする委員の意見としては「住居表示は個々人のメリットだけを目的として実施するものではないため、単純にアンケートを実施するだけではその趣旨が伝わらない」といったものが挙げられた。

また、これまで実施した他の地区でアンケートをした事例はないのかとの質問が委員からあり、実施前にアンケートを行った事例はないことを事務局から回答した。なお、住居表示実施後にアンケートを実施した事例を、事務局からあわせて紹介した。

検討委員が町会等を通して住民の意見を検討内容に反映させていくこととし、岡上町

内会としては全住民へのアンケートは実施しないことで結論し、西町会では別途アンケートの実施について検討することとした。

【議題（3）】新町界を検討するにあたっての基準や考え方について

○町界案の提出について

資料3の考え方をもとに町界案を検討し、12月20日（金）までに事務局へ町会ごとに取りまとめた意見を回答することです承した。

町会の境界が入り組んでいる部分についてどのように扱うか議論されたが、住居表示と町会の所属は無関係のため、どちらの町会に所属しているかということは考えず、道路や公共物などの恒久的な施設で町界を検討してもらうよう事務局から補足した。

【議題（4）】その他

○次回の検討委員会について

1月22日（水）午後4時から岡上公会堂にて開催予定とすることです承。